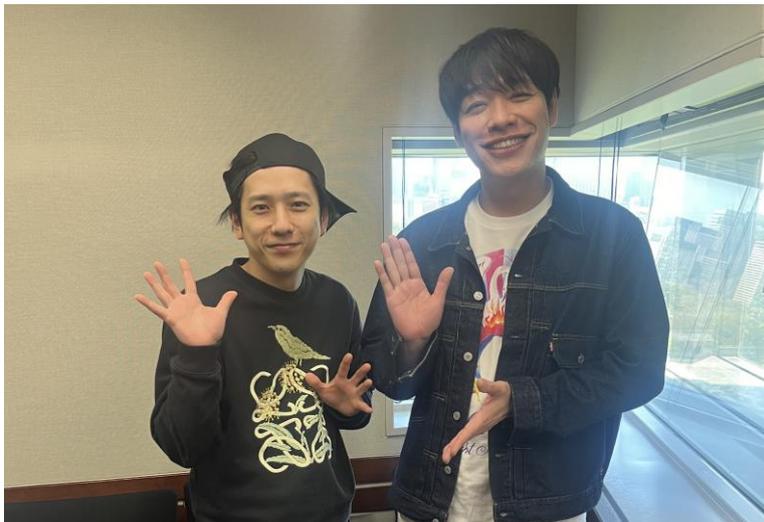


『川島明 そもそもの話』 二宮和也がゲストに登場！

2024年4月20日(土)17:00~17:55 放送 TOKYO FM/JFN37 局ネット

麒麟 川島明がパーソナリティをつとめる番組『川島明 そもそもの話』(毎週土曜日 17:00~17:55 放送)では、2024年4月20日(土)放送回で、二宮和也をゲストに迎えます。芸能界入りしたそもそもの話から、トップスターになるまでの振り返り、影響を受けた人や言葉、そして、独立「オフィスにの」を立ち上げてからのこと、先日発表された嵐の新会社設立についてなど、たっぷりと伺っていきます。どうぞお楽しみに！



★「スケジュール都合で出演できなかったものまで、独立してから、出演依頼のあった脚本や企画書類は全部読んでる。」(二宮)

麒麟 川島明が、多彩なゲストを迎え、意外と知られていないそのゲストにまつわる「そもそもの話」を伺っていく土曜の55分間番組『川島明 そもそもの話』。4月20日(土)のゲストには、二宮和也を迎えてお届けします。

今回の出演の経緯は、番組スタッフが「オフィスにの」のお問い合わせフォームから“ダメ元で”依頼をしたことから。「まさか返信が来るとは思っていなかったので、一番ひいてるのは僕とスタッフです」と川島。日本テレビ「ニノさん」で共演していながら、まだ2人きりで食事などはしたことがなかったという川島と二宮ですが、二宮から「ジン(陣内智則)が、川島さんは朝が早いから(誘うのは悪いだろう)って」と実は番組出演者たちで食事をしていたという暴露話も飛び出します。番組の趣旨である「そもそもの話」では、そもそも二宮が芸能界入りしたキッカケ、その頃の印象的なエピソード、またトップスターへと成長していく過程を振り返り「そういう時代だった。13歳で入所して、デビューが16歳。当時はまだ何もできない少年たちをファンたちが応援しながら成長していく、というのが定番の時代だった。今はデビュー前からドーム公演とかやって、喋れる、歌える、踊れると完成している。今はそういう時代」と語ります。「嵐」という名前についても、初めて聞いた時は「ないわ、と思った」と正直に述べつつ、「候補に出ていたもう1つがある力士と一緒に…」と代案の渋いグループ名候補を紹介。他に、初めての冠番組「真夜中の嵐」での、若かったからできたけど、今だったらとんでもない、というエピソードや、川島曰く「二宮さんはいつもニコニコしている。周りがどんなに殺伐としていても怒るイメージが全くない」ということについて、二宮が「ああいう風になりたいと思った」というある大物から受けた影響、さらに、とある専門家に言われた仕事をする上で大切にしている言葉、などを紹介しました。

また、個人事務所立ち上げの際に進行していた仕事のスタッフに、とある心配をかけたエピソードや、ス

2024年4月13日

スケジュールの都合で受けられなかった仕事に関しても「脚本や企画書は全部読んでいる。(依頼者の)熱量のまま。これまでに出演した作品より、この1年で読んだ作品の方が多いかもかもしれない」と、独立後のエピソードを語ります。川島から「今、楽しいですか?」と聞かれ「これまで、これだけのことを事務所に担ってもらって、出演することに専念できたことに感謝しつつ、独立後の今の状態も、とても楽しいです」と二宮。図らずも、番組を収録した日に、嵐が新会社設立をしたというニュースが届き、川島から祝いを伝えられ、二宮は「時々、大野さんが生きている報告をしないと」と、また笑いを誘います。

番組のエンディングでは、「何か告知はありますか? 普通は告知があって、それをお知らせするためにお越しになるゲストが多いんですよ」という川島に、「何もない状態で来てすみません…、何も背負ってこないとスタッフたちが大丈夫になって、そわそわしてるよね。今度はちゃんと何かを背負ってきます」と二宮。そして「あ、告知がありました! これ、ここで言っているのかな?」と、二宮が川島を驚かせたある発表とは?

番組を、どうぞご期待ください。

『川島明 そもそもの話』番組概要

パーソナリティをつとめる麒麟の川島明が、毎回多彩なジャンルのゲストを招き、誰でも知っているあの人の、意外と知らない“そもそもの話”をうかがう55分のインタビュー番組。

◆放送局: TOKYO FMをはじめとする JFN37 局ネット 土曜日 17:00-17:55

FM 愛媛 日曜日 18:00-18:55、エフエム青森 土曜日 19:00-19:55

◆出演: 麒麟 川島明

◆番組HP: <https://www.tfm.co.jp/somosomo/>

◆番組 X: @somosomo_no ハッシュタグ #そもそもの話